

授業科目	小児科学				
担当者	早島禎幸（実務経験者）・藪中良彦（実務経験者）			（オムニバス）	
実務経験者の概要	早島禎幸（小児科医として14年の実務経験） 藪中良彦（理学療法士として、肢体不自由施設で20年、小児訪問リハビリテーションで5年の実務経験）				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

理学療法士・作業療法士として必要な子どもの病気の知識を学習する。

## ■ 到達目標

子どもの疾患に合わせて適切な理学療法及び作業療法を提供するために必要な子どもの病気の原因や病態を知ることが、この科目の目標である。

## ■ 授業計画

- 第1回 I. 乳幼児健診・予防接種について（早島禎幸）
- 第2回 II. 新生児・未熟児疾患について（藪中良彦）
- 第3回 III. 発達障害について（早島禎幸）
- 第4回 IV. 先天性異常と遺伝子病について（藪中良彦）
- 第5回 V. 神経疾患（特にてんかん）／内分泌・代謝疾患について（早島禎幸）
- 第6回 VI. 脊髄性疾患／末梢神経疾患／筋疾患／骨・関節疾患について（藪中良彦）
- 第7回 VII. 感染症／免疫・アレルギー疾患、膠原病について（早島禎幸）
- 第8回 VIII. 循環器疾患について（藪中良彦）

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）80％】 予習課題・小テスト 20％

授業態度、出席状況（欠席－4点、遅刻／早退－2点、居眠り－1点）

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

次の授業の範囲を明示するので、その範囲を予習し、不明な2つの項目について調べてまとめを提出することで予習を促す。また、随時小テストを行い、復習を促す。

## ■ 教科書

書 名：標準理学療法学・作業療法学 小児科学

著者名：富田豊

出版社：医学書院

## ■ 参考図書

書 名：最新育児小児病学

著者名：黒田泰弘

出版社：南江堂

## ■ 留意事項

毎回出席し、予習・復習をしっかりと行ってください。

#### ■ 講義受講にあたって

3年次で学習する「小児期理学療法治療学」及び「発達障害治療学Ⅰ，Ⅱ」で学ぶ障害のある子どもたちへの理学療法治療及び作業療法治療を理解するための基礎となる小児期の疾患を、「小児科学」でしっかりと学習する。